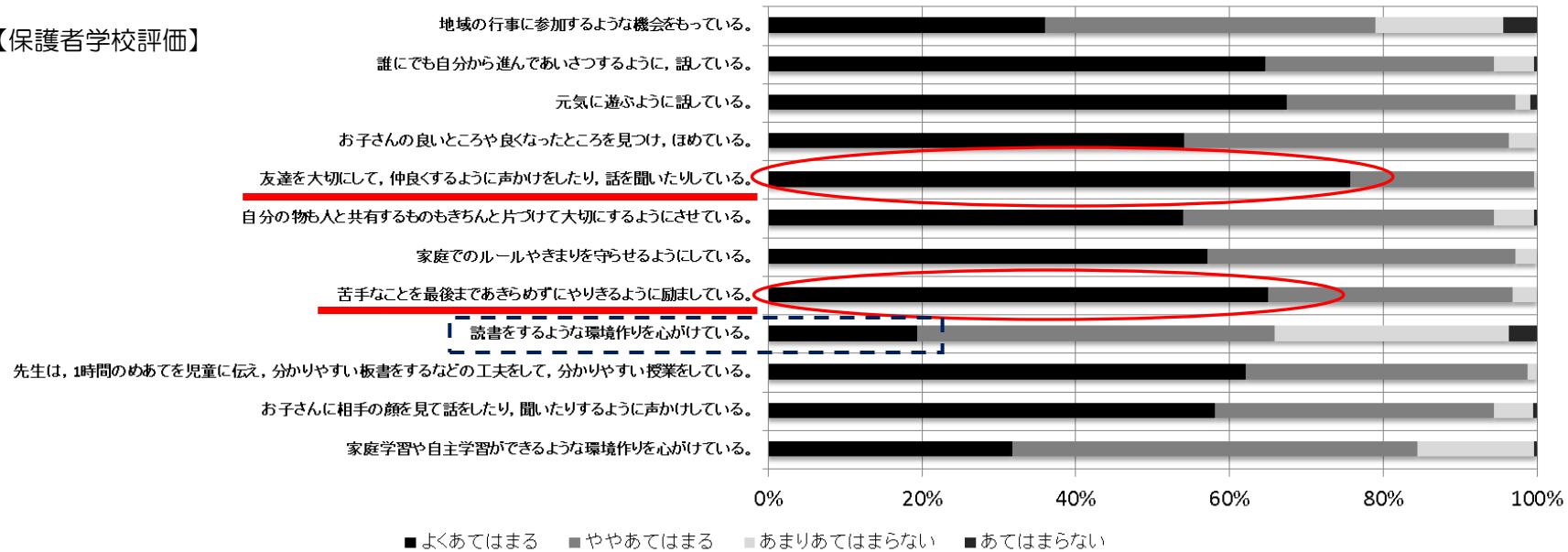


多くの保護者の皆様にご回答いただき、ありがとうございました。集計結果を報告させていただきます。

## 【保護者学校評価】

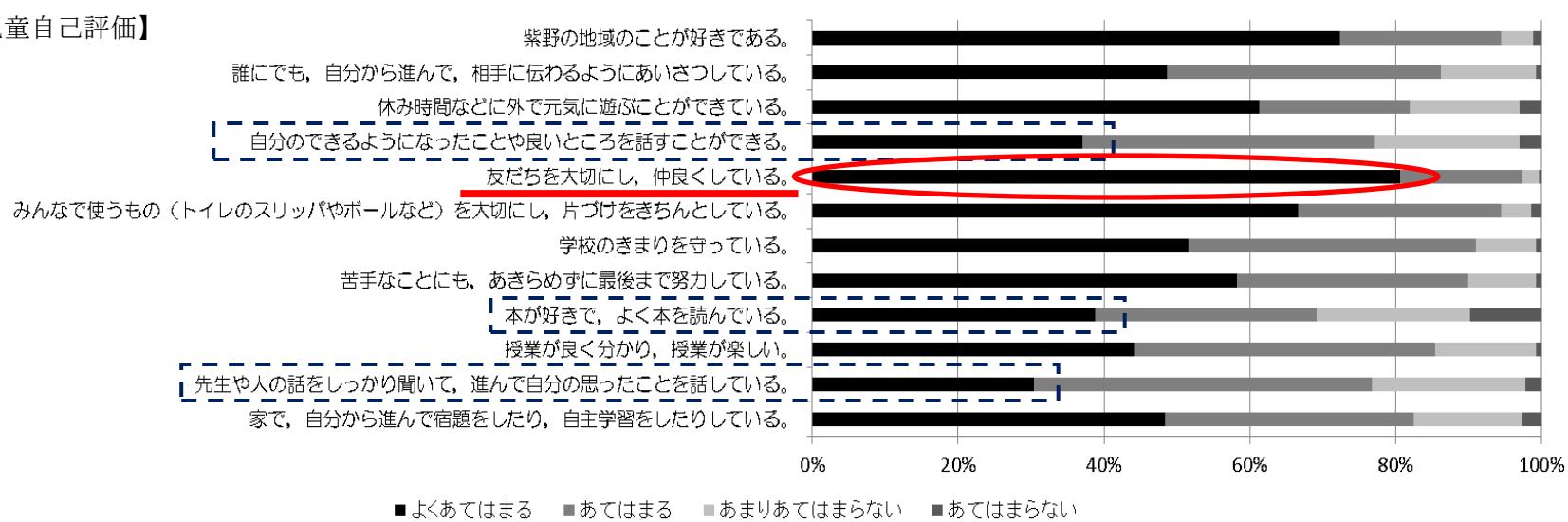


## 【保護者】

一番大切にしてくれている項目が、前期と同様に「友達を大切にして、仲良くするように声かけをしたり、話を聞いたりしている」でした。児童自己評価でも、一番「よくあてはまる」と評価している項目が「友達を大切にし、仲良くしている」でした。各ご家庭で大切にされていることが、子ども達にしっかりと伝わっていることがよく分かります。前期と比べ、大きな変化がない中、「よくあ

てはまる」の評価が上がっているのが、「苦手なことを最後まであきらめずにやりきるように励ましている」の項目です。ご家庭でも、子ども達を温かく見守り、「やりきることの大切さ」を伝えてくださっていることがこの結果から窺い知ることができます。これからも子どもたちへの、温かいお声かけをよろしくお願ひいたします。

## 【児童自己評価】



## 【児童】

児童自己評価で、「よくあてはまる」が40%に満たない項目は、「自分のできるようになったことや良いところを話すことができる」「先生や人の話をしっかり聞いて、進んで自分の思ったことを話している」の「話すこと」に関する2項目と「本が好きで、よく本を読んでいる」の「読むこと」に関する項目でした。「児童集会」、また、研究教科として取り組んでいる「生活科・生活単元学習・総合的な学習の時間」を中心とした地域の方との関わりを多くもつことで、「話す・聞く」機会を多く設定していますが、「積極性」という面でもう一歩ということが窺い知れます。

今後は、話すことに慣れ、自信をつけ、「話す・聞く」ことに楽しさを感じ、自主的・意欲的に活動できるよう様々な取組を進めていきたいと思います。また、下記の教職員の評価から、「読書をするような環境作り」「家庭学習や自主学習ができるような取組」等、より努力すべき内容に関しては改善を図りながら、学校目標である「紫野を愛し、夢に向かって主体的に学び合う人間性豊かな子の育成」に向けて教職員一同より一層努力していきたいと思っております。30年度も引き続き、ご理解・ご協力よろしくお願いいたします。

## 【教職員】

